

2022年 CDPフォレスト質問書

導入編

2022年4月



本ウェビナーの内容

- ▼ CDPの概要 P.3
- ▼ 森林課題について P.4
- ▼ フォレスト質問書に回答する意義 P.12
- ▼ フォレストプログラムの目的 P.15
- ▼ フォレスト回答要請の選定基準 p.19
- ▼ フォレスト質問書の概要 P.20
- ▼ 2021年からの変更点の概要 P.33
- ▼ Aリスト基準 P.34
- ▼ CDP回答提出に向けて P.35
- ▼ リンク集 P.37



CDPの概要



- ▼ CDPは、2000年に英国で設立された**国際環境NGO**。CDP Worldwide-Japanは、日本法人として日本における取組を促進。
- ▼ 世界中の**機関投資家・購買企業の要請**を受けて、企業の**環境情報開示**を促進する活動を実施。
- ▼ ESG情報開示の「E」に関する**グローバルスタンダード**。2021年度は13,000社を超える企業がCDPに情報を開示。
- ▼ 世界中の機関投資家はCDPデータを**意思決定**に活用。
- ▼ **都市・地域**の情報開示も促進しており、2021年度は1,100以上の都市・州・地域がCDPに情報を開示。





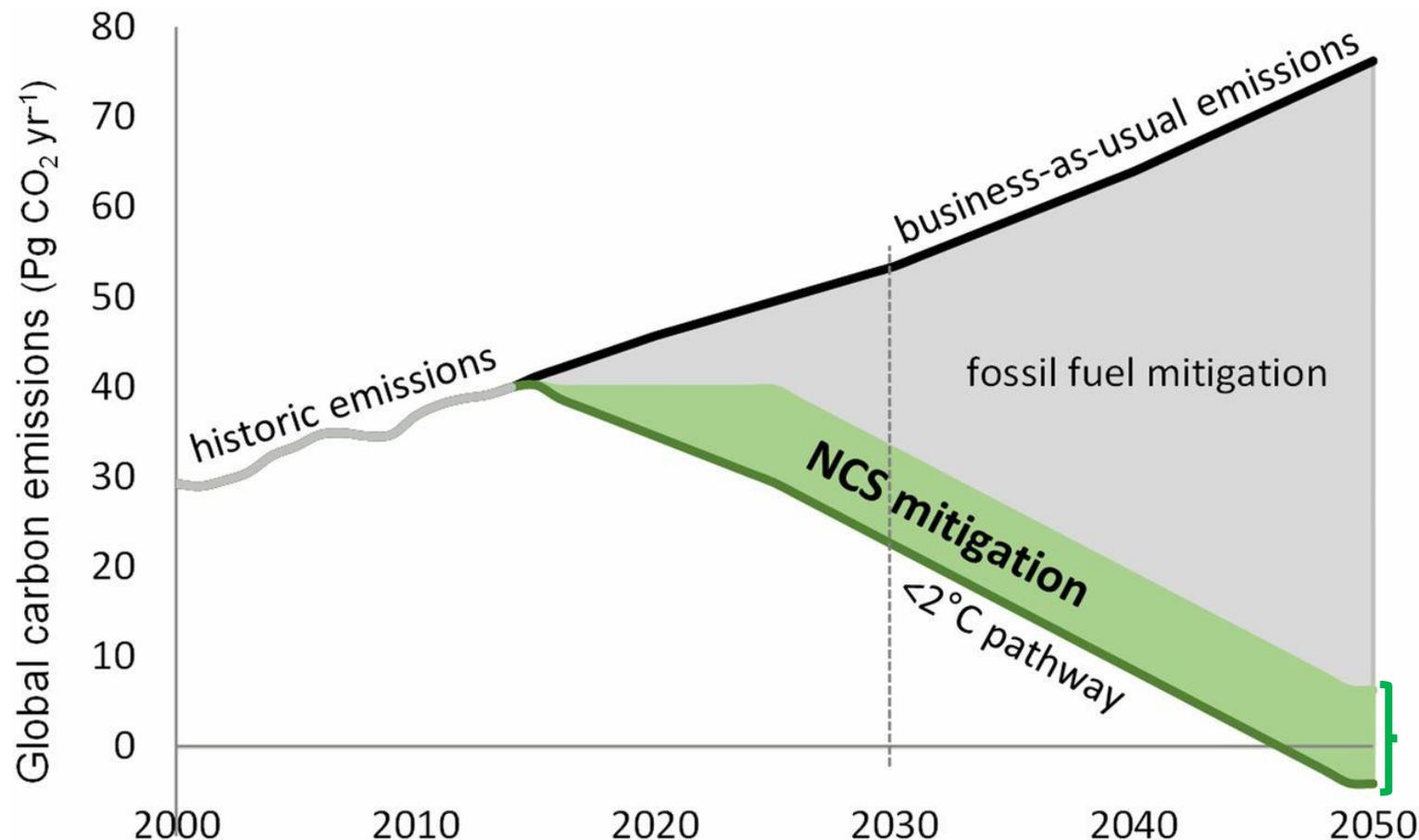
森林は世界の平均気温上昇を
1.5°C未満に抑える鍵である。

CO₂吸収源としての森林への期待

2°C目標達成のために必要なGHG削減量のうち、森林関連分は、2016年以降、

2030年まで：37%

2050年まで：20%



森林の
・保全
・修復
・管理

気候変動と森林

温暖化により
森林火災が増加



出典：The New York Times



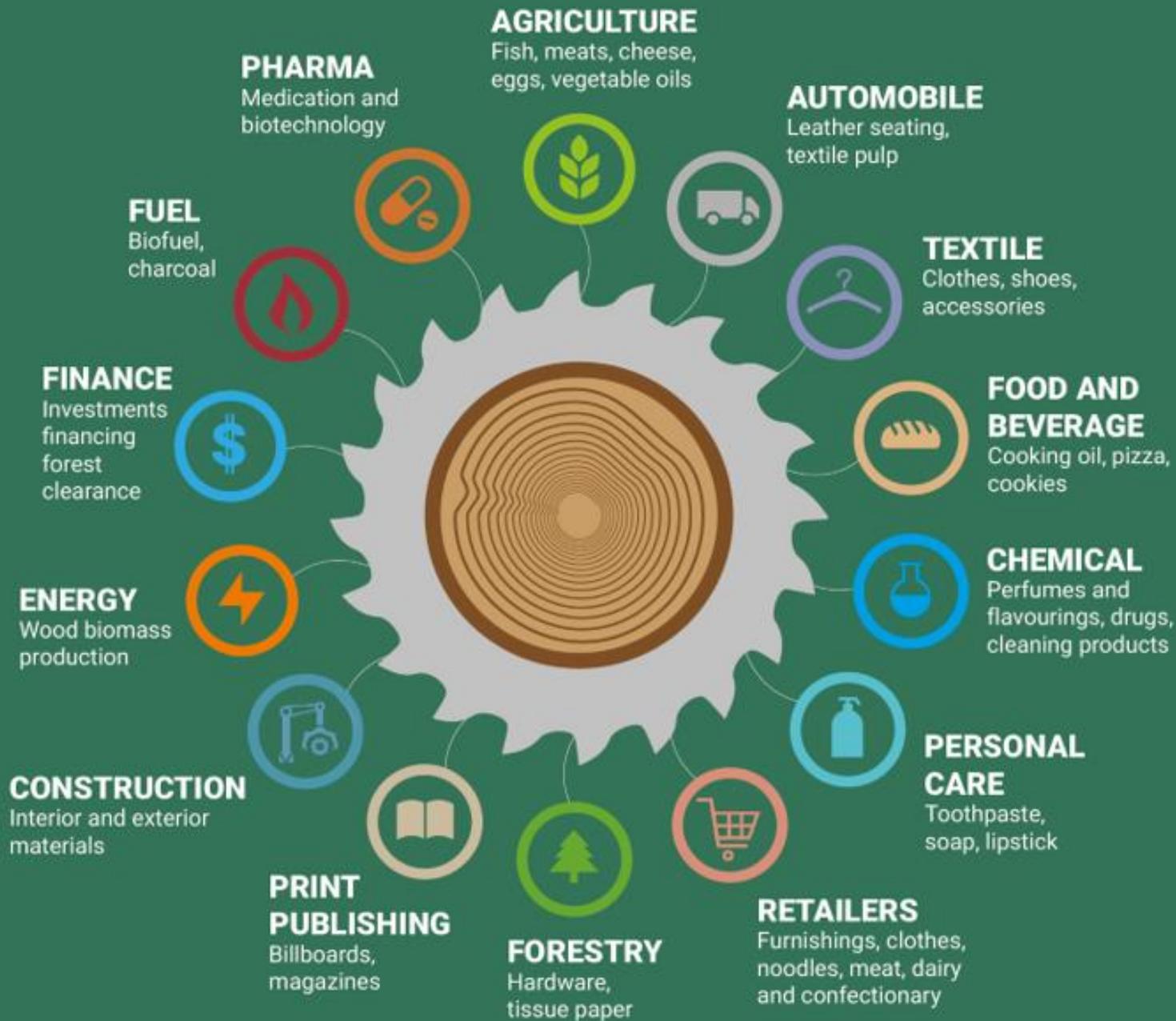
出典：Bloomberg

アマゾンのCO₂
吸収能力が減少

“森林減少がこのまま続けば、20～30
年後、アマゾンは炭素排出源となる”

By : Prof. Carlos A. Nobre
出典 : Yale Environment 360





気候変動と森林減少は
同時に取り組まなければ
ならない課題

森林減少はあらゆるセ
クターに関連する



日本の森林

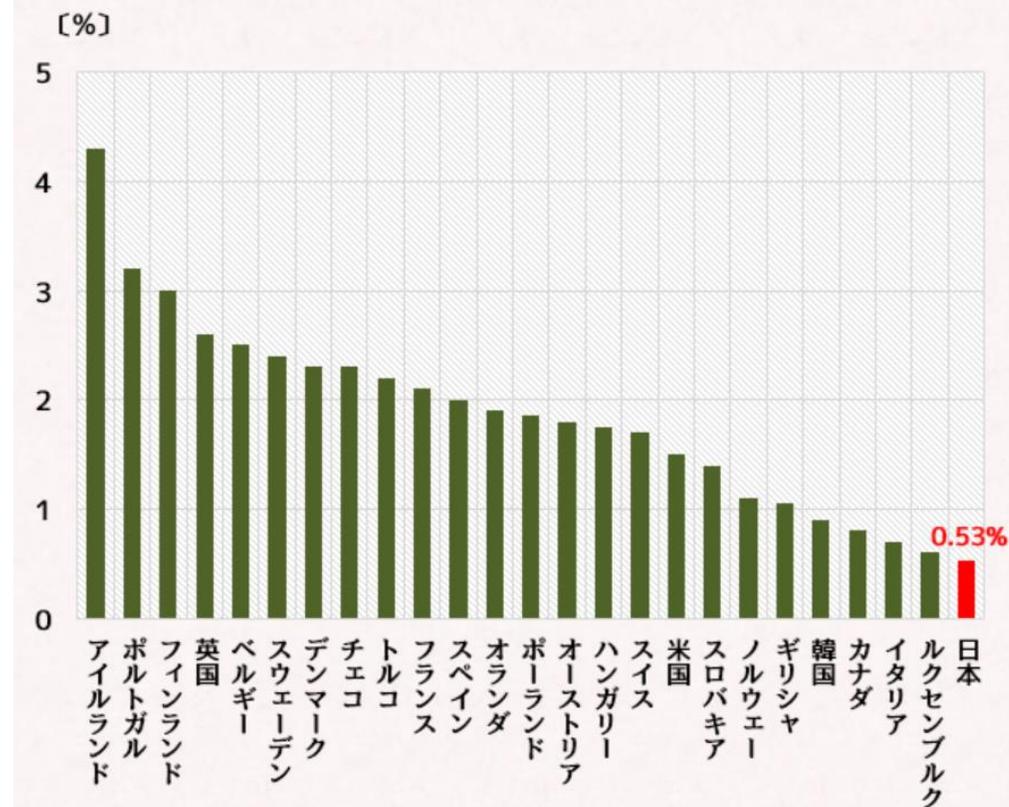
日本の森林蓄積（＝森林資源量の推移）



出典：令和元年度 森林・林業白書

森林資源が増えてきているにもかかわらず、
自国の資源を使えていない
木材自給率＝37.8%（2019年）

自国の森林資源に対する年間伐採量



出典：森林・林業学習館



世界の森林

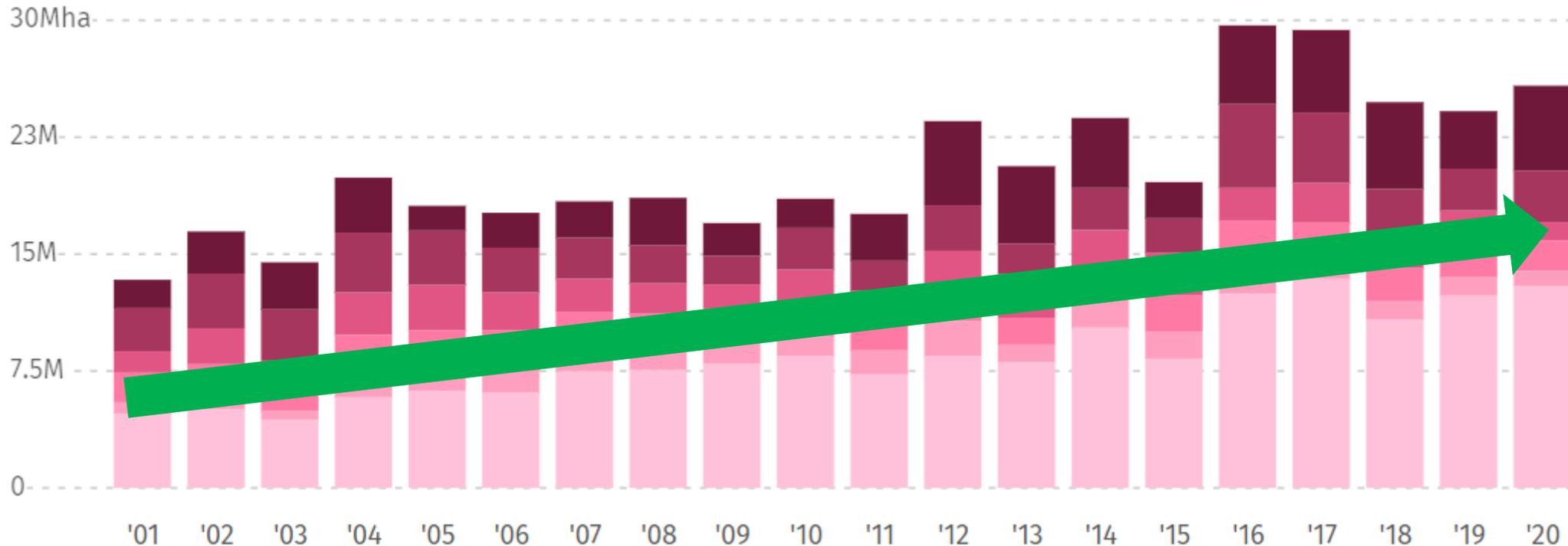
拡大する森林減少

森林（天然林・人工林）の消失面積
≒ 1秒にサッカー場1面（2020年）

2020	
Total	25.8Mha
Russia	5.44Mha
Brazil	3.29Mha
Canada	1.20Mha
United States	1.97Mha
Indonesia	962kha
Other	12.9Mha



森林消失面積

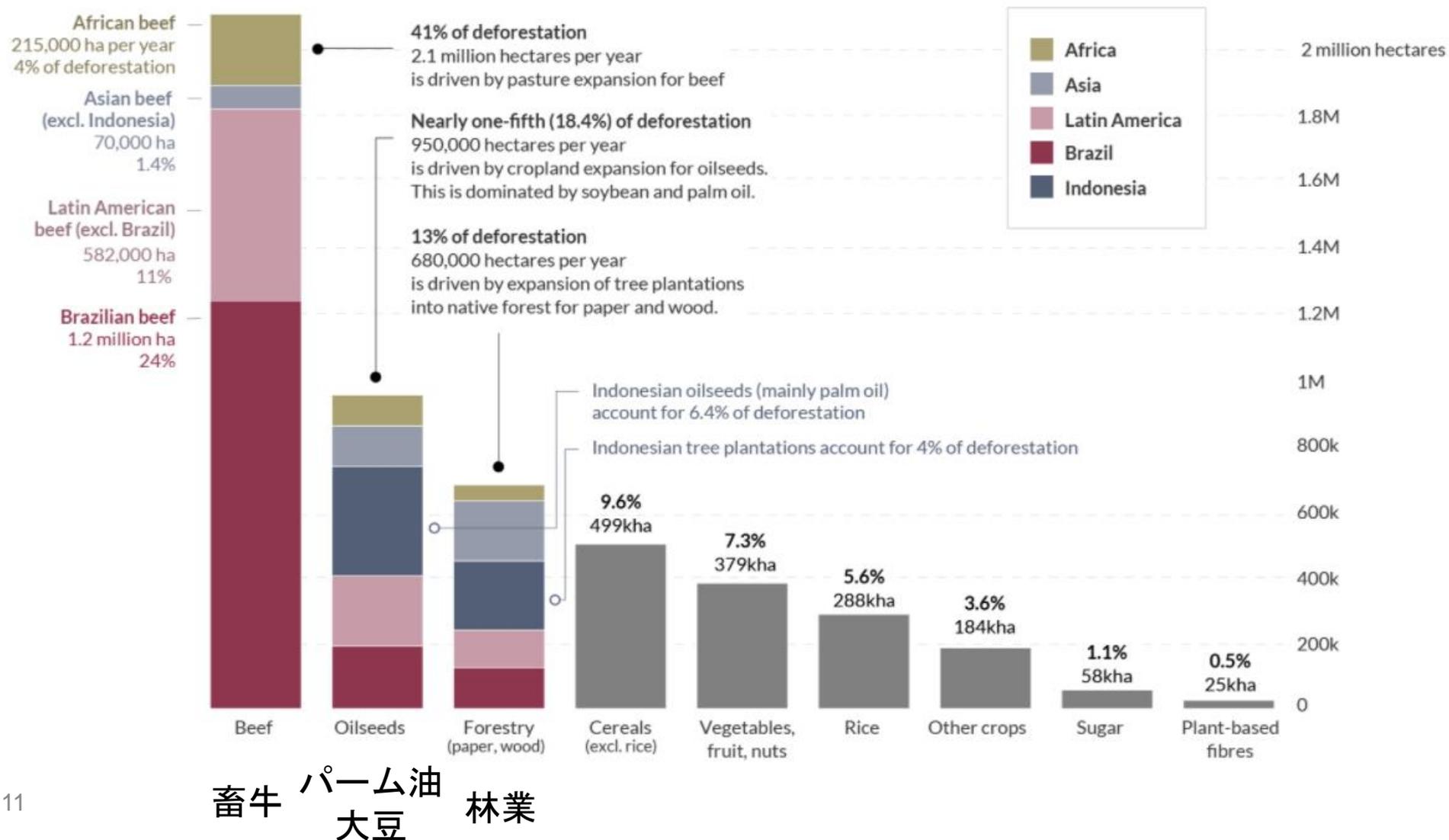




森林減少の80%は 農地への転用が要因

(出典：FAO)

熱帯雨林の減少の要因となるコモディティ



フォレスト質問書に回答する意義

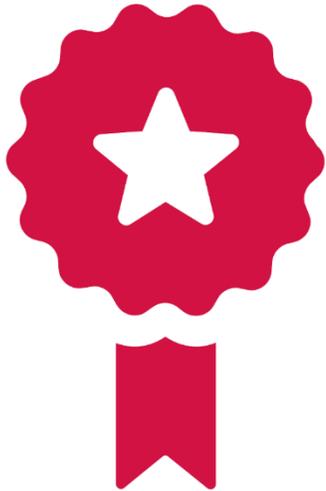


- ▼ 投資家は、受託者責任を果たすためにも、コモディティ調達によって引き起こされる森林減少や、それに対する企業の取り組みがポートフォリオの価値に及ぼす影響を注視している。
- ▼ 正しい課題認識のもとに、サプライチェーンを含む対応とリスクマネジメント、それにもとづく情報開示が求められます。また、こうした課題に対応することは、自社事業の継続性などレジリエンスを高める機会にもなることを認識して行動することが必要です。その意味において、CDPフォレストプログラムに回答することはとても重要です。（CDP2021フォレストレポート）



CDPに回答するメリット

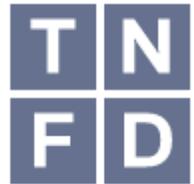
- ▼ 世界中の機関投資家・購買企業・イニシアチブの環境情報開示要請に同時に応えることができる
- ▼ TCFDに沿った情報開示が可能
- ▼ リスクと機会を把握する
- ▼ 目標・取組の進捗状況を把握する
- ▼ 企業の評判を守り、高める
- ▼ 企業競争力の向上
- ▼ 政策に先立って対応する



TNFDとCDP



CDPの世界最大のデータベースは自然関連財務情報開示にとっても貴重なリソースです



自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD : Task force on Nature-related Financial Disclosures)

企業など組織が自然関連リスクについて報告し、行動するためのリスク管理と開示のフレームワークを提供することを目指すイニシアティブ

- ✓ 2022年1月に、TNFDはCDPをこのイニシアティブのナレッジパートナーとすることを発表。
- ✓ TNFDは、20年以上にわたって環境情報開示を推進してきたCDPが保有する企業の環境活動に関する世界最大のデータベースを活用する。



CDPフォレストプログラムの目的



- ▼ 森林減少に関するリスクの理解促進
- ▼ 企業のバリューチェーンにおけるコモディティ（商品）に起因する森林減少を排除するためのガイダンス
- ▼ 外部のステークホルダー（投資家・サプライチェーン・顧客等）と企業との効果的なエンゲージメントの促進
- ▼ 企業にとって、活動の確認とより優れた実践を可能にする



対象コモディティ

自社の事業に関連したコモディティのみ回答

<スコアリング対象>



木材



木材



パーム油



パーム油



大豆



大豆



畜牛品



畜牛品

<スコアリング対象外>

天然ゴム

カカオ

コーヒー

Photo credits: Wood market in Cameroon - Ollivier Girard, CIFOR; Jukwa Village & Palm Oil Production - Ghana oneVillage Initiative; Cattle in Colombia's eastern plains - Neil Palmer, CIAT; Soy bean at Carimagua, in Colombia's eastern plains - Neil Palmer, CIAT



対象コモディティ

- ▼ 木材：建築、家具、包装、ティッシュ、衛生用品、木を原料とする繊維製品、バイオマス等に使用。
- ▼ パーム油：チョコレート、石鹸、化粧品など様々な製品に使用。
- ▼ 大豆：たんぱく質や植物油の最も重要な原料。大豆油粕の殆どは、家畜、養鶏の飼料・餌の原料。中国やインド等において、急激に需要が増加。
- ▼ 畜牛品：家畜農場は南米では森林減少の主な原因。ブラジルの森林減少の要因の75%を占め、世界の富裕層の拡大により、さらに家畜数が増加。

- ▼ 天然ゴム：主に東南アジアの森林を利用した農地拡大の要因。世界市場の7割はタイヤに使用。
- ▼ カカオ&コーヒー：主に熱帯地方の森林を利用した農地拡大の要因。



CDPフォレスト（採掘産業向け）質問書対象企業



- ✓ グローバルでは約200社以上が対象（2019年～）
- ✓ 開示のフロントランナーとして、Banpu Public Co Ltd, China Shenhua Energy, Endeavour Mining Corporation, Eldorado Gold Corporation, Independence Group, Indo Tambangraya Megah Pt, Lundin Mining Corporation, Petra Diamonds Ltd, Polyus PJSC and St Barbaraの10社が選定された。

- ✓ 以下の事業を主な活動とする企業が対象



- | Aluminum
- | Banks
- | Bauxite mining
- | CCGT generation
- | Chemicals wholesale & distribution
- | Coal extraction & processing
- | Copper
- | Fabricated metal components
- | Iron & steel
- | Iron ore mining
- | Metal processing
- | Metals supply, wholesale & trading
- | Other non-ferrous metals
- | Other non-ferrous ore mining
- | Other non-metallic minerals
- | Precious metals
- | Precious metals & minerals mining



フォレスト回答要請の主な選定基準



▼ フォレスト影響評価

当該産業活動に関連するバリューチェーンにおいて、パーム油・木材・畜牛品・大豆・天然ゴム等の生産や使用を通じて、森林に有害な影響を与える、及び/又は、影響を受ける可能性があるか。

▼ 森林に与える影響の大きさ

当該産業活動に関連する森林課題への/からの潜在的影響はどの程度大きいのか。産業活動毎に影響の大きさを分類しており、影響が大きい順に「Critical」、「Very High」、「High」、「Medium」、「Low/no impact」とされる。

▼ 売上の閾値

当該産業活動に関連する企業売上はどの程度大きいのか。

▼ その他

- ▼ 上海、深圳、香港の各証券取引所に上場している企業、またはFTSE All Cap Asia-Pacific Region Indexで「Critical」または「Very Good」の評価を受けた、森林減少に影響を潜在的に影響を与える活動を行っている企業。
- ▼ Global Canopy's Forests 500に選定されている、またはSPOTT indexにおいてパーム油製造または加工業者として認識されている。
- ▼ CDPが定める産業分類であるCDP ACSにおいて、石炭採掘などに該当する企業は、採掘産業向けフォレスト質問書の対象となる。詳しくは[こちら](#)



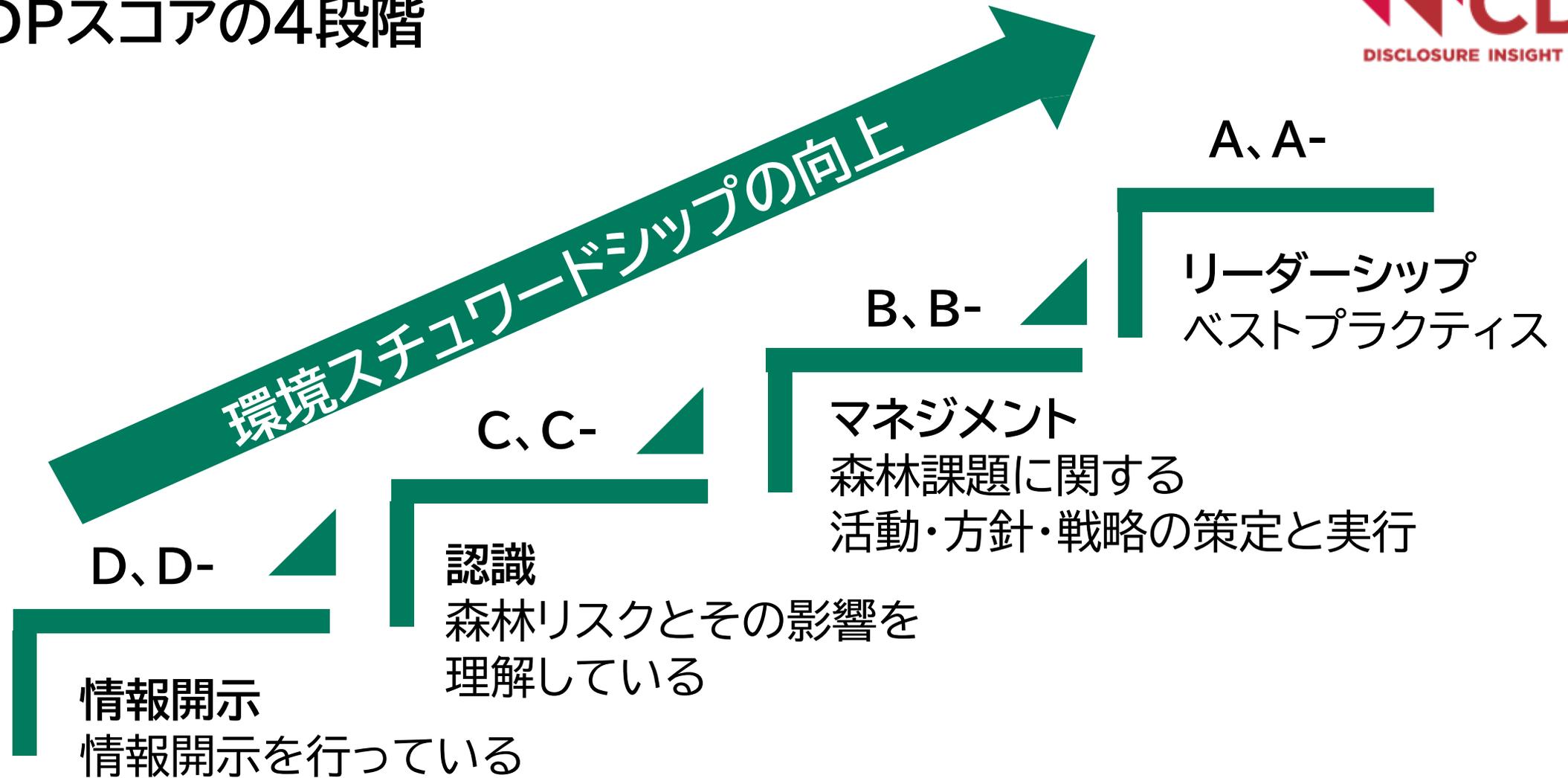
フォレスト質問書のベースとなっている枠組み

▼ アカウンタビリティフレームワーク・イニシアティブ (AFi)

- ▼ CDPは、企業が責任ある農業および林業サプライチェーンに関するコミットメントを実現することを支援するAFiの共同活動の一員です。アカウンタビリティフレームワークは、共通の定義、規範に加え、企業が倫理的サプライチェーンコミットメントを設定、実践、監視、および報告するのを支援するベストプラクティスを規定するように設計された一連の原則とガイドラインを示します。
- ▼ CDPに開示する企業がイニシアチブで示された基本原則に関しても報告できるように、CDPはAFiとの更なる一致を確実にするため、協力して作業してきました。CDPフォレスト質問書の質問とAFi基本原則との関連性は、個々の質問に関してガイダンスに示しています(「他の枠組みとの関連性」にて)。



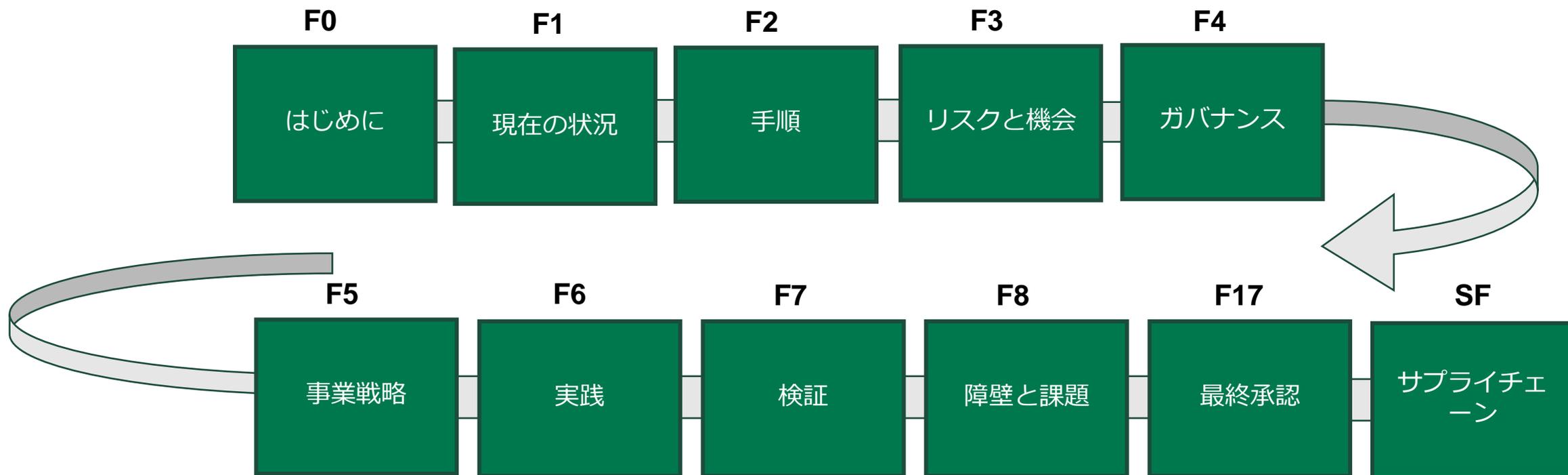
CDPスコアの4段階



無回答企業のスコアはF



CDPフォレスト質問書の構成



金属・鉱業（MM）と石炭企業（CO）を除く



F0 はじめに

Introduction

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 貴社の基本情報

▼ データの報告年

▼ 通貨

▼ 開示・非開示の森林リスク・コモディティの選択及び選択したコモディティのサプライチェーンの段階の選択

▼ 開示に含まれていない直接操業及びサプライチェーンの段階の特定



F1 現状

Current state

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 森林リスク・コモディティへの依存度

コモディティの利用法と供給源

売上

▼ 測定

土地管理

生産中ではない土地所有

データ収集（生産と消費の量データ）

▼ 有害な影響

悪影響

土地転換



F2 手順

Procedures

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 森林関連のリスクを特定し評価するための手順に関する情報

▼ バリューチェーンマッピング



F3 リスクと機会

Risks and opportunities

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼報告内容

▼森林関連のリスクの特定

▼特定したリスクによる事業への影響

▼影響の基準・閾値・範囲



F4 ガバナンス

Governance

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 取締役会の監督

▼ 経営責任

▼ 従業員インセンティブ

▼ 報告（メインストリームの財務報告書への掲載）

▼ 方針 & コミットメント



F5 事業戦略

Business strategy

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 戦略の側面（長期的な事業目標、長期的目標達成のための戦略、財務計画）

▼ 森林関連問題の組み込みの有無

▼ 長期的な対象期間（5年～）

▼ 説明（企業固有の説明、事例）



F6 実践

Implementation



2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 目標

▼ トレーサビリティ: トレーサビリティシステムの詳細

▼ 認証

▼ 制御システム

▼ ブラジル森林法

▼ 法令順守

▼ エンゲージメント: 小規模、サプライヤー、一次サプライヤー以外)

▼ 生態系復元プロジェクト

▼ ランドスケープ/管轄アプローチ



F7 検証

Verification

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 検証の有無

▼ 検証対象となるデータポイントの説明



F8 障壁と課題

Barriers and challenges

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

- ▼ バリューチェーンからの森林減少などに向けた取り組みにおける障害や課題



F17 最終承認

Signoff

2022 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障害と課題

F17 最終承認

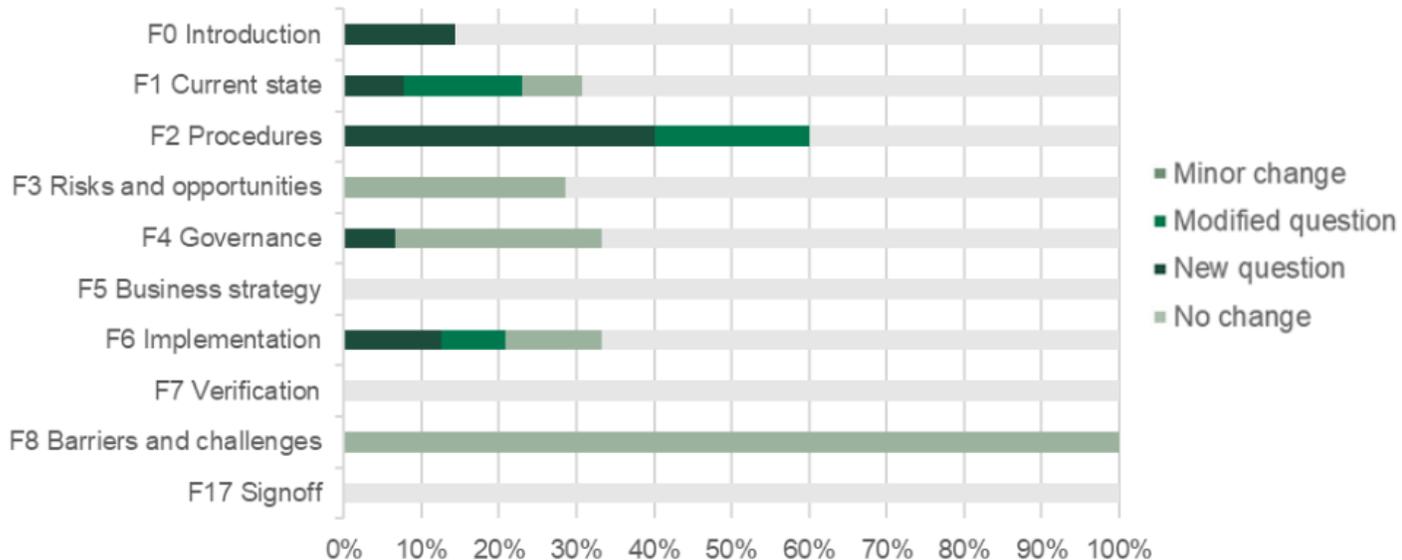
回答の最終承認者の役職と対応する職種を回答



2021年からの変更点の概要

2022 Changes

(excludes sector-specific questions and supply chain module)



- ▼ 質問書の90%が「変更なし」または「マイナーチェンジ」
- ▼ 8つの新規設問
- ▼ 2つの設問を削除
- ▼ セクター固有の新規/修正設問は無し

※変更点の詳細は概要資料(日本語)及び詳細資料(英語)をご覧ください。
※モジュール別の詳細は別途用意の詳細編ウェビナーをご覧ください。



Aリスト要件

▼ フォレスト特有

- ▼ 全操業とサプライチェーンについて、包括的かつ徹底したリスクアセスメントが実施されていることを示すこと(F2.1a)
- ▼ 森林減少と森林劣化に関するコミットメントに対する行動をとっている (F4.5, F4.5a, F4.6, F4.6b, F6.1, F6.2, F6.2a, F6.3, F6.4, F6.8, F6.11)

▼ プログラム共通

- ▼ スコアがAレベルの閾値をクリアしており、最低限のリーダーシップポイントを獲得
- ▼ 重要な範囲を報告除外対象に含めていない
- ▼ 投資家要請質問書について回答を一般公開している
- ▼ CDP スコアリングチームによるリーダーシップ関連質問のマニュアルチェック
- ▼ RepRisk による評判リスク問題に関するチェック
- ▼ CDP 各国オフィスのチェック 及びCDP スコアリング運営委員会の承認

	Climate	Water	Forests
No significant exclusions present (C6.4, C6.4a, F0.5a, W0.6a)	✓	✓	✓
Verification of at least 70% of Scope 1, Scope 2 and Scope 3 total emissions (individually, not collectively within both C10.1a, C10.1b & C10.1c)	✓		
Obtain minimum Leadership points (dependent on program)	✓	✓	✓
Submit a public response to the investor request	✓	✓	✓
Demonstrate that a comprehensive and thorough risk assessment of all operations and supply chains has been undertaken (F2.1a)			✓
Demonstrate action towards deforestation and forest degradation related commitments (F4.5, F4.5a, F4.6, F4.6b, F6.1, F6.2, F6.2a, F6.3, F6.4, F6.8, F6.11)			✓
Pass manual Leadership question check by CDP scoring team	✓	✓	✓
Pass CDP reputational risk checks	✓	✓	✓
Pass CDP Scoring Steering Committee approval	✓	✓	✓



ORS操作上の留意点

フォレスト特有

▼ 開示する森林リスク・コモディティとサプライチェーンの段階の選択

▼ここで選択されないと、エラーが出て、先の質問に進めません。

▼全てのコモディティについて、「開示しない」または「このコモディティは弊社では生産、調達、あるいは使用されていません」を選択すると、F17最終承認までジャンプします。

▼昨年回答された企業様は、F0.4にリンクする全ての質問について、昨年の回答がコピーされていますので、今年の実答とするには編集または削除が必要です。



CDP2022年回答のスケジュール

※公開時期などについては今後変更となる可能性があります



1月

- 2022年質問書・ガイダンスの公表

3月14日の週

- 2022年スコアリング基準の公表
- 正式な回答要請レターの送付

4月11日の週

- 2022年オンライン回答システム (ORS)のオープン

3~6月

- ライブウェビナーの開催／オンデマンドウェビナーの公開
- 資料の日本語版公開(4月末-5月頃)

7月27日

- 回答の提出×切 ※期日後に提出された回答は評価対象外となります。

秋

- 回答の公開 ※要請元に回答が提供されま

冬

- スコアの公表



CDPが提供している主な資料(リンク集)

- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)



CDPニュースレターのご案内



CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

ご登録フォーム



創刊のご挨拶

平素よりCDPの活動にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、CDPでは、本年度より日本のステークホルダーの皆様に向けて、ニュースレターを配信することになりました。私どものエンゲージメント活動やレポートの発刊、イベント情報などをお届けして参ります。ご活用いただけましたら幸いです。



今月11日から13日にかけて英国のコーンウォールのカービスベイで開催されたG7首脳会議では、気候変動対策が大いに議論されました。会議後に公表された共同声明では、2050年までのネットゼロの達成およびそれに沿う2030年目標へのコミットメントが謳われ、産業界のRace to Zeroキャンペーンへの参加や科学に基づく目標を通じた気候変動対策が歓迎され、奨励されました。

また、それに先立って開催されたG7財務大臣会議では、TCFDの枠組みに基づく開示の義務化に向けて支持が表明され、インパクト報告の重要性への認識も示されました。



金融を介した脱炭素化の取り組みが勢いを増しています。今月上旬にイタリアのベニスで開催されたG20財務大臣・中央銀行総裁会議では、気候変動が金融安定にもたらすリスクがあらためて認識され、気候関連財務リスクに対処し、サステナブル・ファイナンスを動員するための環境整備の必要性が確認されました。これを受けて、翌週の日本銀行政策決定会合では、金融機関に気候変動対応の投融资を促す新制度の骨子が示されました。また、民間サイドでも、今月、新たに41の資産運用会社が脱炭素化を支援する国際金融イニシアティブに加わるなどの動きを見せています。





CDP ジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



Contact email address:
japan@cdp.net

